



給食だよ



2026年 2月
脇田こども学園

2月は、暦の上では“春”に入ります。でも、まだまだ寒～い日が続きます。
節分には、豆まきをして災いをもたらず“鬼”と一緒に風邪のばい菌も退治して、
元気に過ごせるようにしたいものですね。
しっかり食事から栄養を摂り、健康な身体や心を育てましょう。



《節分のいわれ》

現在は、立春の前日のことを「節分」と呼んでいますが、本来は季節の変わり目のことで、年4回あります（立春・立夏・立秋・立冬の前日）。旧暦では立春が年の初めだったので、節分は大晦日に相当します。新暦では節分は、2月3・4日にあたります。前年の邪気をはらう事の行事の代表が豆まきでした。



★節分にまつわるもの★

★豆：季節の節をわける意味の節分には豆まきをして邪気を払い清めます。
季節の変わり目には天候が不安定なため、病気にかかりやすく、その悪い魂（病気）を追い払うのです。
豆は炒り豆を使います。
生豆を使わないのは、『拾い忘れた豆から芽が出ると良くないことがある』と言われているからです。

★いわし：いわしの臭いで鬼が近づかないようにするためです。

★ひいらぎ：葉のトゲトゲで鬼の目を刺して、戸口ににんにくや髪の毛をつるす地方もあります。いずれも、邪気や鬼を追い払うためとされています。

★やいかがし(焼嗅)：戸口にいわしの頭やひいらぎをさします。

★巻き寿司のまるかぶり：関西発祥と言われています。
「福を巻き込む」や、「縁を切らないために包丁を入れない」ということで、丸ごと食べるそうです。

